

# 保父会ニュース

1990/7/13

VOL.4

発行 北海道の子どもと保父の会

## 六月の例会報告

六月の例会は、日程を変更したこともあってか四名のみの寂しい例会になりましたが、小田氏より、保育所保育指針の改訂についてのレポートがありました。それについての感想などを話し合っただけですが、当日参加の四名の所属が保育所二・施設二・刑務所一ということもあって「指針」の改訂については余り情報が伝わっていないメンバーより、素朴だが鋭い意見が出されました。例えば「これほど細部に渡って示されねば保育が出来ないのだから、専門性が問われている」「実戦経験の少ないものにとつては、かえって画一的な保育しか出来なくなってしまう危険性があるのでは」等々。また、それぞれの現場での職員の姿勢についてや話し合いや理論研究の難しさ、何を大切に子ども（利用者）に接していくべきか等を熱く語り合い、次回以後もこのように本音で話し合う良さを広めていくことを確認し、少人数だが密度の濃い例会を終えました。

## 七月の例会に多数の参加を！

好評の関口先生を迎えての第二回目の勉強会です。第一回目はひとりひとりの個性を大切に考える方や心の解放など保育にも通じるお話しをたくさん聞かせていただきましたが、今回は実技なども交えた楽しい勉強会になりそうです。早くも参加を楽しみにしているとの声や遠方よりの参加希望も寄せられており、色々な顔ぶれに出会えそうでもあります。是非、都合をつけて参加して下さい。

七月二十一日（土）午後六時三十分から  
道庁別館二階 第一又は第二会議室

## 全国交流会のお知らせ

集まろう 語り合おう

保育の未来を生きがいを

のテーマのもとに二年に一度行っている、全国男性保育者連絡会主催の、第六回男性保育者全国交流会へ感じよう心と身体でーが次の要領で行われま

す。

時 一九九〇年十一月二十四日（土）

二十五日（日）

所 愛知県勤労会館＋ひまわり保育園  
内容 パネルディスカッション

『男性保育者の現状と未来』

記念講演

全国文化大交流会

参加費 五〇〇〇円（一泊二食・資料  
会場費共）

申込・お問い合わせは

名古屋千種区仁座町二二〇

どんぐり保育園 岡崎さんまで

電話（052）782-1210

FAX（052）782-1010

尚、北海道の部分は一緒に行こうと  
考えています。行ける方は事務局まで。

第2ほとポツポ保育園

船戸 敬悦

ベートーベンの第九交響曲のレッスンを始めて二か月が過ぎようとしていた。年末の演奏会まであとわずか、練習も一段ときびしさを増し、他の団員の熱気を感じながらも一刻一刻と初演が近づいていたのだった。そんなある日、いつものようにレッスンを終え保育園の寮に帰ろうとした時だった。「あのー、保父さんなんですか？」と一人の女性に声をかけられた。私は「そうです。」と答えた。彼女はソプラノのY子さんだった。「もしよろしかったらお話ししたいんですけど…」びっくりしていた。「ええー」と声をうわすせながら淀屋橋の洒落た喫茶店に二人で入った。彼女はピアノリストでもあり、ジャズダンスも教えている活発で現代的な女性だった。私たちは人生論や音楽論を話すうち、時に子ども論は話しが面白い、しだいに意気投

合していったのだった。はじめて話しをしているのに、何年も前から知りあいのように感じられるのが不思議だった。私は保父になったきつかけや、今年保母試験に落ちたこと、そして友達の影響で第九のレッスンに参加していることをすべて話したのだった。すると彼女は私の顔をじつと見つめて、「私でよかつたら力になりますよ…」と言ってくれたのだった。私はびっくりしていた。初対面なのに…なぜ？ 半信半疑であった。

そうこうしているうちに、いよいよ演奏会本番、第九交響曲の夕べの初日をむかえていた。指揮は外山雄三、大阪フィルハーモニーの後ろに

私は立っていた。フェスティバルホールのお客様は五千人の観客でうめつくされていた。保育園の同僚や父母達も私の晴れ姿を観にきてくれた。第二ベルのあと、スーッと幕が上がった瞬間、私の心の中にジーンと走るものがあつた。感動だった。「ダイネーツアイベル…」自分でも信じられないほどさわやかにうたえていた。たいへんだっただけど挑戦してみても良かったと思つていた。演奏会のあと私は満足感を噛みしめながら御堂筋を北へ向かつて歩いていて、その横にY子も一緒に並んで…。一緒になしとげたという共感を胸に北に向かつて歩いていていた。

(次回につづく)



## 近況

浜分保育園 別府 国茂

こども達にたのしませてくれた園庭の花もそろそろ店じまい、かわつていちごがあかくなり、ミニトマトが4コほど、後 かぼちゃ、きゅうり、じゃがいも、とうもろこしとそれぞれ元気ができました。

チャボのお母さんが元気なく、死にそうだよ？という子どものことばにどきどき。でも元気で隙をみては、エサを食べているのです。こども達が部屋にいった時なのですが…。

あと、小さいりんごが二個、さくらんぼ一個だけなり、もう食べられたのに、だれかとった、だーれだ！

けむし、かえる、わらじ、おたまじゃくし、きんぎょ、うさぎ、すずめ… 毎日、こどもがふれているものみてるもの。

みみずなんかつかまえたなら、もう大変！ えばって、えばって…

当園のささやかな自然です。

しかし、なんといつても自然の第一はこの子達。

運動会を前にかけつこならまかしとけ（だけか？）のこの子達です。

夏に向かって元気にゴー

上磯町 浜分保育園からデシタ

（別府さんは、今度、渡島保育協議会の事務局長になり、大変忙しい毎日を送っているそうです。お酒の量も増えたとか？ 次号も引き続いて別府さんの執筆を掲載する予定です。）

## 二年目を迎えて

西野中央保育園 中村 勝志

昨年の春、西野中央保育園の就職が決まり保父元年を迎えました。始めは、やることなすこと初めてのことはばかり

で、なかなか仕事の要領を得ず、失敗する日々が続きました。特に、男性保育者ということで、まわりの好奇の目や、私には重すぎる期待感に押しつぶされそうになり、毎日が息苦しく感じました。始めの頃は、保母さん方とも話もできず、休憩時間が恐怖の時間となり、全然休憩にならなかつたこともありました。その頃、男ということはどう保育に生かせば良いのかどう利用すれば良いのか考えさせられました。

まず、男性保育者にとらわれる前に、一保育者として、子どもにどれだけ関わられるか、やってみようと思い、大人と子どもという立場からではなく、仲間としてあそぶような心がけて行きました。一緒にあそんでいると、子どもが私をバカにしたりすることもありますが、頭にくることもありました。ボールぶつけやプロレスごっこもやりだすと、つい本気になり、子どもを泣かしてしまい、保母さんに呆れられたり、「子ども相手に本気になって」と笑われることなどしょっちゅうでした。この間、

ひとりの保母さんに「中村先生って子どもと走りまわったり、あばれたりしてとつても楽しそうだね。」とポロツと言われたことがあります。なんだか自分がやっていることが認められたような気がしてとても嬉しかったです。話しは変わりますが、今年の三月、法人の正職試験があり、受験しました。うちの法人は大きいので、多少の期待を持ちましたが、結果は惨敗でした。法人では精薄施設もあり、施設に転勤になつても良いのなら正職になれ、保育園勤務を希望するなら、試験は不合格だと言われました。保育園では四年制大学を卒業した男子を雇う体制が整っていないからだということでした。保父という職業は、社会的にも、まだまだ認められていないものだという事は十分わかっているつもりでしたが、いざ、自分の身に降りかかってくると強烈なショックがありました。園長はじめ、他の先生方の励ましを受け、再度、正職を目指して頑張っている今日この頃です。

## 交歓後記

瀬尾昌彦

去る七月三日、鶴川より浅野幸治さん（鶴川ひかり保育園）が出張で来札し、小田会長と私とが再会を祝して語りかつ痛飲しました。

浅野さんは、しばらく音信不通でしたが、とても元気な様子で例のけんだま（知る人ぞ知る）の話から始まり現在の保育所の状況まで様々な話しに花が咲きました。このニユースの名前も考えているそーですが・・・その夜は、一軒目は麦酒と焼き鳥（しかし、この店は若い女性向きだったので少々落ち着かなかつたのですぐ出た）、二軒目は冷やの升酒と海の幸で、三軒目はウイスキーとおつまみでと大いに盛り上がりました。七月の例会には万難をはいして参加し盛り上げるそうです。また、今度は鶴川で例会をという話しも飛び出し、浅野さん「それじゃあ、テントでも借りますか？」・・・是非実現したいですね！！（うまい焼き鳥屋もあるそうですよ）

## 事務局より

毎度毎度のお願いですが、いまだに仮称の「保父会ニユース」。しゃれたネームをつけてください。

また、色々な原稿を募集しています。まだの貴方、ここで一発自分をアピールしませんか？よろしく！

## 会計より一言お願い！

平成元年度分の会費（三千元）未納者が、あと少しいます。至急「北洋銀行

北海道の子どもと保父の会 会計 瀬尾昌彦」まで振り込んでください。二年度分も宜しく！

## 事務局

〇〇三札幌市白石区北郷二条三丁目  
北白石保育園内 011-874-8222